

# 防災キャンプ編

## 主催事業新聞

### ファミリーDAY防災キャンプ編

発行所  
 岐阜市少年自然の家  
 岐阜市山県北野2081  
 ファミリーパーク内  
 電話(058)229-2888



停電時に間仕切りを組み立てる参加者と所員

巨大地震や特別警報発令時など、いざという時に備えて避難方法や避難所での生活を体験する「ファミリーDAY防災キャンプ編」が10月30日(日)に岐阜市少年自然の家(岐阜市山県北野)で行われ、小中学生を含む家族連れが避難所生活を体験しました。

#### ◆新企画事業◆

防災キャンプという設定は、自然の家で初めての試みでしたが、定員20家族の枠に、なんと75件の応募がありました。抽選の結果、小学生と一緒に参加できる家族22家族がこの防災キャンプに参加しました。

#### ◆今までにない防災訓練◆

これまでの防災訓練や避難訓練は、主催者が準備や片付けなど、参加者は本当に参加するという意味での訓練でした。しかし、よりリアリティを出すために、今回の防災キャンプでは、実際に岐阜市の防災倉庫にある防災資機材と同じものを借用しました。また避難所を運営する職員も3名という想定の中、避難者同士で考えたり、協力しながら避難生活を考えしていく訓練です。

#### ◆防災キャンプがスタート◆

真冬の深夜2時に、避難所に避難してきた設定で始めました。会場内の電気をすべて消して、避難所内は電気・水道・ガスと

いったライフラインが完全にストップしている状態で、ようやく避難所にたどり着いた所からの想定です。

#### ◆発電機と投光器をセット◆

懐中電灯をもっている人は電気を付けてもらい、暗闇のなか発電機を動かし、投光器を組み立て、避難所内の灯りを確保しました。

#### ◆トイレと断熱マットの設置◆

灯りが確保できた所で、今度は避難所内に断熱マットを引く作業と屋外に簡易トイレ4基を設置する作業を行いました。参



屋外では簡易トイレとテント4基を設置

#### ◆避難所で一晩過ぐ◆

落ち着いた所で毛布を配布、避難所内で家族が身を寄せあつて一晩過ごしました。途中で一度、緊急地震速報が流れ、落ち

着かない様子で、一晩を何とか過ごしました。

#### ◆アルファ米で炊き出し訓練◆

翌朝という設定のもと、今度は避難者同士で災害用アルファ米で炊き出し訓練をしました。実際に屋外でお湯を沸かし、沸かしたお湯で、きのこご飯を炊きました。出来たてのご飯は、一人前ずつパックに分けて配布しました。味は想像していたより美味しくできあがり、おかわりをする子どももいました。

#### ◆新聞紙で防災グッズ◆

最後に、新聞紙を使ったスリッパ作りを皆さんに紹介しました。簡単にできる新聞スリッパは、

いざという時に、足を守る道具としても役に立ち、参加者からは「すごいね」や「これなら僕でもできるよ」と言った驚きの声が上がりました。



新聞紙で作る簡単スリッパ作りに挑戦

### ●参加者から寄せられた声●

防災キャンプを体験した参加者からの声として「避難者同士、協力することの大切さが良く分かりました」とか「大勢の人がいると、寝る時に少しの音でも気になると感じた」など、実際に体験を通して分かったことや学びが、とても多かったと意見をいただきました。



自然の家は一時避難所に指定されているので、職員にとっても大変良い経験でした。いざという時に備え、日頃からの防災意識は大切ですね。

### ●次回のファミリーDAYのお知らせ●

次回のファミリーDAYは「スターウォッチング編」で、2月25日(土)、26日(日)の2日間開催します。応募は、1月上旬からはじまります。みなさんからの応募をお待ちしています!!